

THE NORTH FACE CUP 2018

予選会ルール

1. 各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題(コース)をトライしていき、完登した課題数で順位を出します。課題数は各カテゴリー10 課題です。好きなエリアに並んでトライします。*セッション時間、競技エリア数は会場により異なります。
2. 課題のスタート付近にはカテゴリーと番号が付いていて、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。
*TNFC2018 より上記の赤字部分においてルールを変更しております。
2017 はスタートホールドに番号が付いていて。
3. スタートの条件は課題テープで囲われた&棒テープが張ってあるホールドに、棒テープに合わせて手足の4点を置いた状態でスタート。その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。
条件付き課題についてのご質問は担当エリアのジャッジにお尋ね下さい。
*TNFC2018 より上記の赤字部分においてルールを変更しております。
2017 以前は課題番号のついたスタートホールドを両手で持って、両足を浮かせた状態でスタート。

例



4. 完登は TOP の表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。

*必ずジャッジに完登のOKを確認してからおってください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。

ボーナスポイント(課題の中間ポイント*Bと表記)はボーナスがついているホールドを保持した時のみ有効です。(タッチや振られ落ちの場合認められません。)

ボーナスポイントにはB①とB②があり、B①を使わずにB②を保持した場合は、B①も保持したことになります。

完登した場合は、B①とB②を保持したことになります。

*TNFC2018より上記の赤字部分においてルールを変更しております。

2017以前は完登はGの表記

5. 選手には選手番号がふられており、選手番号のついたゼッケン又は選手番号札を大会当日受付にて渡されます。競技にはその選手番号が必要になります。
必ずトライする課題を伝え、選手番号のゼッケン又は番号札をジャッジに見せてからトライを開始して下さい。課題の結果記入は各エリアのジャッジが行います。
6. ジャッジに間違いがある場合は競技中もしくは、次の競技が始まるまでにジャッジに申告して下さい。
時間がたってからの申告は無効となります。
7. 順位は完登数の多い順で決まります。完登数が同じ場合はB②の数で順位をつけます。
さらに同着の場合は、B①の数で順位をつけます。
8. 時間内の最終トライは認めます。
9. エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスマアリングすることはOKですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。
また、壁の形状(カンテ、凹角)を使うことはOKですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップも指定された(テープの張られた部分)場所以外使用できません。壁に備え付けられたハリボテ(形・素材は様々)は、コースのテープが張ってある場合、使用可能です。テープが張られていない場合は、手足がふれることを禁止致します。デマケーションテープが張ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。*コースとデマケーションテープの色は会場によって異なる場合がございます。大会当日ご確認下さい。
10. トライしている課題以外のホールドを使ってはいけません。間違っ使用してしまったり触れてしまった場合、使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。戻れなかった

場合は、そのトライを中断してください。その時点での高度まで有効となります。

11. 競技前や競技中は、課題のスタートホールド以外は触ってはいけません。
12. クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。
ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングできます。
13. 本戦出場獲得者人数は当日出場した選手数で計算されます。
詳しくは大会詳細より出場権獲得者数をご確認下さい。
14. 壁のボルト穴を使用することは禁止といたします。
15. 競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、
1回につき全体の競技時間を最大5分延長とさせていただきます。ホールド破損時に
その課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせていただきます。
16. ホールドが破損した場合、代替りのホールドをご用意いたします。
チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドをご用意いたします。

THE
NORTH
FACE
CUP
2018